

事例番号:320052

原因分析報告書要約版

産科医療補償制度
原因分析委員会第三部会

1. 事例の概要

1) 妊産婦等に関する情報

1 回経産婦

2) 今回の妊娠経過

妊娠 33 週 1 日 胎児心拍数陣痛図上、正常所見

妊娠 33 週 3 日頃- 胎動減少を自覚

3) 分娩のための入院時の状況

妊娠 33 週 5 日

時刻不明 胎動減少のため搬送元分娩機関受診

10:02- 胎児心拍数陣痛図で胎児心拍数 90 拍/分台

10:48 胎児機能不全の診断で当該分娩機関に母体搬送され入院

4) 分娩経過

妊娠 33 週 5 日

11:09 胎児徐脈の診断で帝王切開にて児娩出

手術当日 血液検査で AFP 27636.0ng/mL、胎児ヘモグロビン 1.98%

5) 新生児期の経過

(1) 在胎週数:33 週 5 日

(2) 出生時体重:2218g

(3) 臍帯動脈血ガス分析:pH 6.881、PCO₂ 86.1mmHg、PO₂ 18.6mmHg、

HCO₃⁻ 15.3mmol/L、BE -14.3mmol/L、ヘモグロビン 1.5g/dL

(4) アプガースコア:生後 1 分 0 点、生後 5 分 0 点

(5) 新生児蘇生:人工呼吸(バッグ・マスク、チューブ・バッグ)、胸骨圧迫、気管挿管、アトレンソール注射液の投与

(6) 診断等:

出生当日 重症新生児仮死、胎児母体間輸血症候群、早産児、低出生体重児

(7) 頭部画像所見:

生後 16 日 頭部 MRI で大脳基底核・視床に信号異常があり低酸素性虚血性
脳症の所見

6) 診療体制等に関する情報

〈搬送元分娩機関〉

(1) 施設区分:診療所

(2) 関わった医療スタッフの数

医師:産科医 1 名

看護スタッフ:助産師 1 名、看護師 3 名、准看護師 2 名

〈当該分娩機関〉

(1) 施設区分:病院

(2) 関わった医療スタッフの数

医師:産科医 2 名、小児科医 1 名、麻酔科医 2 名

看護スタッフ:助産師 11 名

2. 脳性麻痺発症の原因

(1) 脳性麻痺発症の原因は、胎児母体間輸血症候群による胎児の急性出血のため
に循環障害を生じ、低酸素性虚血性脳症を発症したことであると考ええる。

(2) 胎児母体間輸血症候群の原因は不明である。

(3) 胎児母体間輸血症候群の発症時期は、妊娠 33 週 1 日の外来受診以降、妊娠
33 週 5 日までの間であると考ええる。

3. 臨床経過に関する医学的評価

1) 妊娠経過

妊娠中の管理は一般的である。

2) 分娩経過

(1) 搬送元分娩機関における妊娠 33 週 5 日妊産婦からの電話連絡への対応(胎
動減少のためすぐ来院を指示)は一般的である。

- (2) 受診時の対応(分娩監視装置装着、超音波断層法、血液検査を実施)は一般的である。
- (3) 胎児心拍数陣痛図の判読と対応(胎児機能不全と判断し母体搬送決定)は一般的である。
- (4) 当該分娩機関入院時の対応(分娩監視装置装着、超音波断層法を実施)は一般的である。
- (5) 胎児徐脈の診断で来院 15 分後に緊急帝王切開を決定したことは適確である。
- (6) 帝王切開決定から 19 分後に児を娩出したことは適確である。
- (7) 臍帯動脈血ガス分析を実施したことは一般的である。
- (8) 胎盤病理組織学検査を実施したことは適確である。
- (9) 出生時の児の状態から胎児母体間輸血症候群を疑い、妊産婦の血液検査(AFP、胎児ヘモグロビン)を実施したことは医学的妥当性がある。

3) 新生児経過

- (1) 新生児蘇生(バッグ・マスクおよびチューブ・バッグによる人工呼吸、胸骨圧迫、気管挿管、アドレナリン注射液の投与)は一般的である。
- (2) 生後 26 分で重度貧血に対し輸血(人赤血球濃厚液)を行ったことは適確である。

4. 今後の産科医療向上のために検討すべき事項

- 1) 搬送元分娩機関および当該分娩機関における診療行為について検討すべき事項
 - (1) 搬送元分娩機関
なし。
 - (2) 当該分娩機関
なし。
- 2) 搬送元分娩機関および当該分娩機関における設備や診療体制について検討すべき事項
 - (1) 搬送元分娩機関
事例検討を行うことが望まれる。

【解説】 児が重度の新生児仮死で出生した場合や重篤な結果がもたらされた場合は、その原因検索や今後の改善策等について院内で事例検討を行うことが重要である。

(2) 当該分娩機関

なし。

3) わが国における産科医療について検討すべき事項

(1) 学会・職能団体に対して

胎児母体間輸血症候群の発症について、その病態、原因、リスク因子の解明が望まれる。

(2) 国・地方自治体に対して

なし。